

令和6年度 教職員研修

～尼崎の教職員を支援するために～

尼崎市教育委員会事務局
教育総合センター

令和6年度 教職員研修～尼崎の教職員を支援するために～

ページ

I	教育総合センターの事業について	1
II	教職員研修事業について（学び支援課）	5
1	研修体系策定の方針	5
2	具体的な取組	6
3	研修をすすめるにあたって	7
4	研修体系図 ※別添参照 P9	8
5	研修計画	10
6	文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧	16
7	令和5年度 研修報告	17
8	令和5年度 研究部会の概要報告	23
9	令和5年度 学びの先進研究サポート事業 自主研究グループ一覧	25
10	令和5年度 教科書センター事業報告	26
11	令和5年度 教育情報の収集・整理事業報告	26

資料

	欠席届（様式3）	27
--	----------	-------	----

I 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、次のような業務を推進している。

- 一人ひとりの子どもたちの「生きる力」を育てるために、教職員の資質や指導力向上を目的とした教職員研修や各種の研究
- 尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS）の実現
- 不登校支援及び教育相談に係る事業
- 学びの多様化学校設置に向けた準備

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

運営方針

本市においては、令和2年度に5年間の教育の方向性を定めた「尼崎市教育振興基本計画」を策定し、「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」を柱にした教育行政を進めている。

一方、令和5年6月には、国において令和5年度から令和9年度までの教育政策や指標を示す新たな「教育振興基本計画」が策定された。また、県においても令和6年度から第4期ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）による教育が推進される。

教育総合センターでは、市の示した方向性を踏まえるとともに、国や県の方針等を参酌しながら、研修体系に基づく教職員研修、新たな教育課題に対する先進的な研究、学社連携推進事業、教育 ICT 環境の整備、AGS 実現に向けた先進的研究、不登校支援、教育相談等を通して、教職員の資質・指導力の向上や子どもへの支援を推進する。

なお、教育総合センターの組織は、【学び支援課】【学校 ICT 推進課】【こども教育支援課】【学びの多様化学校設置準備担当（課）】の4課であり、それぞれが連携を図りながら事業を進めている。

教育総合センターの主な事業

学び支援課

<教職員研修事業>

(1) 教職員研修

教員一人ひとりのキャリアプランを踏まえた幅広い研修体系に基づいた研修を実施する。経験年数や職務・職階に応じた基本研修、教科等の指導力向上をめざす専門研修、本市の教育課題に関する特別研修を実施する。

(2) 学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、教員による自主研究グループの活動を補助する。また、先進地域の学校園へ教員を派遣し指導力を向上させることを支援する。

(3) 中核市法定研修

- ・ 1年目教員必修研修
中核市として、県の定めた研修以外にも新規採用教員に対して、採用の日から1年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。
- ・ 中堅教諭等資質向上研修
教諭等としての在職期間が10年に達した教員に対しては、個々の能力・適性やニーズに応じた選択研修を取り入れながら、ミドルリーダーとして、学校の中核を担う教員の指導力向上をめざす研修を実施する。

＜英語教育推進事業＞

コミュニケーション重視の授業づくりに向けた教員研修を実施する。4技能5領域をバランスよく高めるための指導の工夫を行い、コミュニケーション中心の授業を推進するために教員の指導力向上をめざす。

＜教育情報収集・提供事業＞

教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係職員に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

- ・ 「教育あまがさき」の発行（年2回）
- ・ 「教育総合センターだより」の発行（年4回）
- ・ 教育図書の間覧、貸出し
- ・ 「教育情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネットのHP上で毎月）

＜児童生徒文化充実支援事業＞

児童生徒の個性や能力の伸長と学力の向上を図るため、小・中学校の教科等研究会の実践的な取組を支援する。

＜デジタル採点システム活用事業＞

全ての市立中・高等学校の定期試験等の採点業務において、デジタル採点システムを活用し、教職員の業務の効率化及び負担軽減を図るとともに、生徒個々の習熟度に合った課題の出題など、生徒一人ひとりに寄り添った教育に取り組むことを目指す。

◆センター研究部会（学び支援課所管分）について

当面する教育課題について実証的な研究を深めるための研究部会を設置し、教材開発を行うとともに、研究成果を市内に広め、本市教育の充実を図る。

- (1) 「エビデンスに基づく教育実践研究部会」
「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を分析して学力向上のPDCAサイクルに活かしていく、実践的な研究及び「よりよい授業をめざして」の有効な活用を通じて、各学校における学力向上や授業力向上を図る。
- (2) 「体力向上研究部会」
幼稚園・小・中学校の教員が参加し、楽しく運動しながら体力向上につながるプログラム「リズムジャンプ」の研究を行う。

学校 ICT 推進課

<学校情報通信ネットワークシステム関係事業>

GIGA スクール構想に適応した通信環境や市内各学校・施設・教育委員会を結ぶネットワークの確保及び、児童生徒の出欠管理を行う校務支援システム等を整備する。

<教育 ICT 環境整備事業>

教育 ICT 環境の一層の充実と適正化を図るため、児童生徒及び教職員の ICT を活用した学習基盤を整備する。

<未来の学び研究事業>

先進的な研究を通じて、社会の変化に対応した新しい教育課題に焦点を当て、教職員の指導力向上を目指す。特に、AGS 実現に向け、ICT を活用した授業方法に関する先進的な研究を進めるとともに、教職員が様々な学習場面で ICT 機器を効果的に活用した学習活動ができるよう教員の指導体制と ICT 活用指導力の向上を図る。

(1) 未来の学び指定校事業

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた未来の学びを進めるため、探究的な学びや未来の学びに向けた校務改善などを実践しようとする学校を研究指定校とし、その取組を兵庫教育大学と連携し支援する。

(2) 「探究的な学習研究部会」

小・中・高等学校の教員が参加し、探究的な学習の手法として、児童生徒にゆだねる授業を実施し、校種間を越えた学びの展開を研究する。

こども教育支援課

<不登校対策事業>

個々の不登校児童生徒の要因・背景等を把握し、不登校の未然防止、早期発見・早期対応につなげるとともに、多様な状況に応じたサポートを行う。

(1) 不登校対策の推進

不登校児童生徒に関する対応力の向上を目的に教職員への研修等を実施するとともに、学校環境適応感尺度「アセス」等の活用を進める。

(2) ハートフルフレンドの派遣

不登校児童生徒やひきこもり傾向、学校の別室等に登校している児童生徒に対して、大学生や社会人をボランティアとして派遣し、ふれあいを通じて自尊感情や自己肯定感を育み、自主性や社会性の伸長を援助する。

(3) こどもの自立支援活動

不登校児童生徒の自主性・自立性を育むために、社会・文化・自然とふれ合う体験活動を企画運営するとともに、学校関係者が不登校児童生徒に対する理解を深めるための研究・研修を実施する。

(4) 校内サポートルーム・エリアの設置

不登校には至らないものの、不登校傾向にある児童生徒も多く存在するため、

未然防止（発達支持）の視点から、教室での学びに「しんどさ」を抱える児童生徒の居場所・回避場所として「校内サポートルーム・エリア」を整備する。

＜教育支援室運営事業＞

学校以外の学びの場の保障と保護者を含めた支援者との連携を行うため、不登校児童生徒の通う「ほっとすてっぷ」の運営と、身近な学習スペースである「サテライト教室」を運営するとともに、「不登校の子どもを持つ親のつどい」を実施する。

＜心の教育相談事業＞

（１） スクールソーシャルワーカー（SSW）

支援が必要な子どもの早期発見・支援、課題の困難化・重大化予防のため、学校などの教育現場を基盤に関係機関と連携し、子どもの思いに寄り添い福祉的援助活動を行うスクールソーシャルワーカーを配置する。

（２） 教育相談

いじめや不登校をはじめ、複雑・多様化する子どもたちの悩みの解決を支援するため、個に応じた教育相談を実施する。

（３） 匿名報告アプリ（STANDBY）

市立中・高等学校において生徒にとって身近な SNS を活用した匿名報告アプリを利用し、様々な問題や悩み事について、教育委員会に匿名で報告できる環境を構築することで、教育委員会、学校、関係機関等で情報共有して早期に適切な対応につなぐ。

学びの多様化学校設置準備担当（課）

＜学びの多様化学校設置準備事業＞

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策・支援の一つとして、多様性を認める学びの場を整備するため、柔軟な教育カリキュラムの編成などが可能な「学びの多様化学校」の設置に向けた検討を進める。

Ⅱ 教職員研修事業について（学び支援課）

1 研修体系策定の方針

<研修体系について>

「尼崎市教育振興基本計画」の中の基本方針を踏まえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別・臨時研修の4つに分類し実施する。

(1) 基本研修

① 教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。1年目教員必修研修（初任者研修）では、中核市である利点を生かし、授業力向上や地域への愛着心を醸成する実践等、重点化した内容の充実を図る。また、2年目、3年目も、1年目教員必修研修（初任者研修）に引き続き研修を実施し、グループでの授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

② 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校・園の組織力向上を目的とした管理職研修を実施する。特に、危機管理研修を充実させる。

③ 職務に応じた研修

中核となる教員の育成をねらいとし、人権教育、生徒指導・不登校支援、養護教諭、栄養教諭、ミドルリーダー、特別支援教育コーディネーター等を対象とした職務に応じた研修を充実させる。

(2) 専門研修

① 教育課題等への対応研修

いじめ、不登校、特別支援教育、ICT活用、就学前教育等への専門性を高める研修や、新しい教育課題の対応に資する研修を実施する。また、子どもの人権にかかる多様な課題の研修を通して教職員の人権意識の高揚を図る。

② 教科等の指導力向上をめざした研修

これからの時代を担う子どもたちに身につけさせたい資質・能力（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」）の育成をめざし、各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。

また、指導教員等を講師とし、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 先進的研究・自主研修

常に学び続ける教員を育成するため、教員の自主的研究や先進的研究を支援する。また、教育活動に役立つ情報を収集・整理して、関係者に提供する。

(4) 特別・臨時に実施する研修

年間計画として当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある場合、特別・臨時研修を随時実施する。

2 具体的な取組

<教職員の資質向上>

教職員の資質向上をめざし、3つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教員

- ・ 校長や教頭などの職務・職階に対応した研修
- ・ 子ども理解のための研修（いじめ防止、不登校支援、特別支援教育など）
- ・ 養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの職責を遂行するための研修
- ・ 人権問題について学ぶための研修

確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教員

- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・ 教科の指導力向上をめざした研修の充実
- ・ ICTを活用した授業力の向上
- ・ 若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）
- ・ 保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の交流や連携を図る研修の実施

総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教員

- ・ 学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修の充実
- ・ 小学校、中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材研究等における小中連携を図る研修の充実
- ・ 地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実

<中核市として主体的に研修の充実を図る>

中核市として、国や県の動向をみながら尼崎市にふさわしい研修を実施する。

(1) 1年目教員必修研修（初任者研修）〔法定研修〕の充実

- ・ 授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付ける。
- ・ 1年目の教員が本市での教育活動に情熱を注げるように、本市の地理・歴史・文化等について学び、地域への愛着心を醸成する。
- ・ 1年目に引き続き2年目、3年目においても、グループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

(2) 中堅教諭等資質向上研修〔法定研修〕の充実

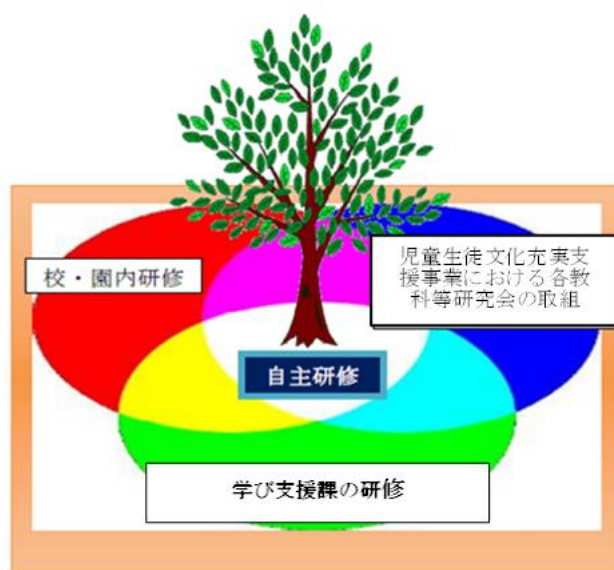
教科指導や生徒指導の研修等を通じて、より専門性と実践力を高めるとともに、本市の課題や将来について考える広い視点を持った中堅教員を育成する。

(3) 県主催の研修に加えて市独自に臨時的任用教員への研修を実施し、資質・指導力の向上を図る。

(4) 高等学校教員の研修参加を促し、資質・指導力の向上を図る。

3 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「学び支援課が企画する研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営する研修等がある。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。そうして培われた豊かな地盤の上に教員自身の学ぶ姿勢が育っていく。その姿勢こそが自ら進んで学び続ける「自主研修」へと発展していくのである。



<対話に基づく受講奨励>

- (1) 管理職は、資質向上指標や研修計画に基づき、教職員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成、学校がめざす教育を進めるために必要な専門性・能力の確保等の観点から、当該職員の意向を踏まえながら、過去の研修履歴を活用した研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行う。
- (2) 教職員は自らのニーズに加え、学校で果たすべき役割等、職能開発の視点を踏まえた目標設定を行う。

<学び支援課の研修と校・園内研修の連携>

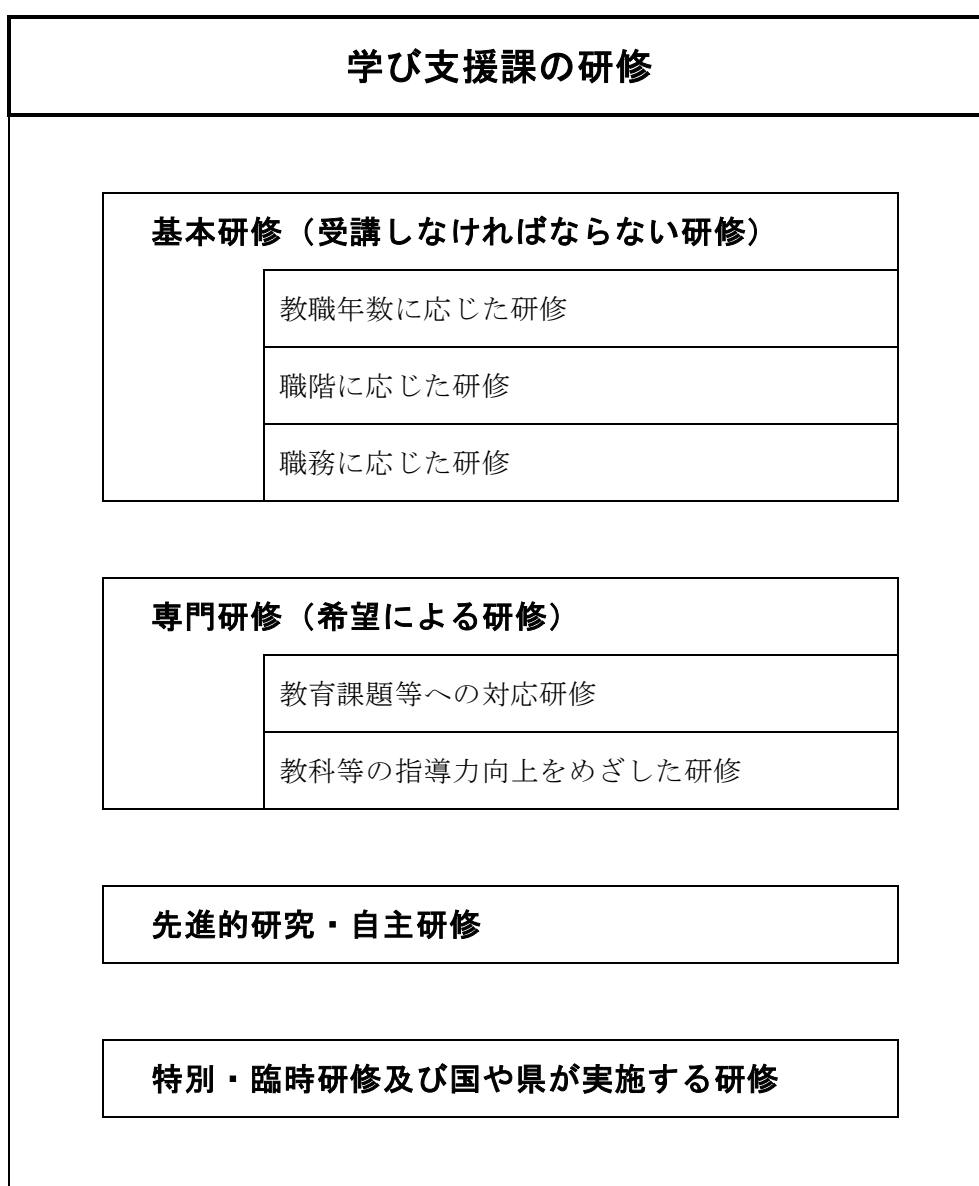
- (1) 授業力向上等に向けて、学び支援課の研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。また、指導主事による学校訪問等を通して授業づくりについて支援する。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、公開授業・研究発表会や研究紀要により広く公開する。また、研究部員等を講師とした研究成果の交流や、ICTの活用授業の紹介等、研究成果の共有化を積極的に図っていく。
- (4) 先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員を支援する。

＜学び支援課の研修と自主研修の連携＞

- (1) 教員自らが実践的指導力を高めるための自主研修は、教員の資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループや個々のニーズにあった支援の充実を図る。
- (2) 教育情報コーナーにおいて、最新の書籍を含む教育情報、これまでに公開された授業の学習指導案、これまでの研究紀要、教育史に関する資料等を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するために研修室を夜間（午後9時）まで開放している。さらに、AMA-NETのホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築している。

4 研修体系図（略図）

（別添参照）



令和6年度 尼崎市教職員研修体系図

基本方針

「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」の実現をめざし、次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。

尼崎市が求める教員の素養

- ① あふれる情熱と責任感 ② 確かな授業力・指導力・専門性 ③ 総合的な人間力

経験年数（年目）

1

2

3

4

5

10

15

20

25

30

35

キャリア段階

第1期<1～5年目>

実践的な指導力を伸ばす

第2期<6～20年目>

職務に応じて専門性を伸ばす

第3期<21年目～>

より高い力を身につけ、後進の育成に生かす

経験年数や職務・職階に応じて必要な資質・能力の向上を図る。 ※国や県が定める研修

教職年数に応じた研修

臨任教員研修

※初任者研修
(法定研修)

※2年次研修

※3年次研修

※5年次相当研修

※中堅教諭等資質
向上研修
(法定研修)

※15年次相当研修

※20年次研修

職階に応じた研修

校・園長研修
新任校・園長研修
教頭研修
新任教頭研修

教育公務員としての自覚を促し、いじめ、体罰、ハラスメント等に関する研修を継続して実施する

管外転入教員研修

職務に応じた研修

人権教育担当者研修

生徒指導・不登校担当者研修

ミドルリーダー研修

養護教諭研修

栄養教諭・学校栄養職員研修

教育用コンピュータシステム
管理担当研修

特別支援教育
コーディネーター研修

体罰等防止研修

学校事務職員研修

高等学校いじめ防止研修

コンプライアンス研修

コミュニケーション重視の授業
改善に向けた教員研修

教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。

教育課題等への対応研修

教育課程に関する研修講座

幼児・児童・生徒に関する研修講座

一般教養に関する研修講座

教育の情報化に関する研修講座

人権に関する研修講座

インクルーシブ教育に関する研修講座

家庭・地域や関係機関との連携に関する研修講座

教科等の指導力向上をめざした研修

各教科等の専門性を高める研修講座

各教科等のカリキュラム等に関する研修講座

実技・演習に関する研修講座

就学前・幼児教育に関する研修講座

小・中学校教科等研究会の研修講座

幼稚園教育研究会の研修講座

常に学び続ける姿勢をもち、先進的な課題へ挑戦する。

先進的研究のための支援

教育情報システム
○OAMA-NET システム
○教育・研修資料等の情報提供
○指導案・ワークシート等のデータベースによる情報発信
○「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発行

教育資料の収集・貸出

○教育総合センター教育情報コーナーにおける教育資料の収集整理・情報提供・貸出
○「教育史資料室」の開架

センター研究部会

- ◆エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ◆探究的な学習研究部会
- ◆体力向上研究部会

学びの先進研究サポート事業

- 自主研究グループの活動支援
- 先進地域への短期派遣研修

指導教員制度

特別・臨時研修及び国や県が実施する研修

- ・管理職研修(県)
- ・独立行政法人教職員支援機構研修(国)
- ・主幹教諭研修(県)
- ・兵庫教育大学大学院派遣(県)
- ・道徳教育実践研修(県)
- ・学級経営研究会(県)

- ・生徒指導担当教員等研修会(県)
- ・幼児教育連携促進研修会(県)
- ・キャリア教育担当教員実践研修(県)
- ・専科教員の指導力向上研修(県)
- ・人権教育研修会(県)
- ・防災教育研修会(県)
- ・特別支援教育担当者研修(県)

- ・情報教育研修会(県)
- ・学校・園のニーズに応じて実施する研修(市)
- ・他課と連携して実施する研修(市)
- ・初任者研修の一部(県)
- ・拠点校指導教員研修会(県)
- ・その他喫緊の課題に関する研修(市)

--- キャリア段階を問わず実施する研修等

5 研修計画

※研修内容は予定です。

1 基本研修(受講しなければならない研修)

(1)職階に応じた研修(職階別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	獲得をめざす資質			対象校種	対象者
					責任感・	授業力	専門性 対応力		
ms11010	校長研修	未定	管理職として、広い視野と洞察力の上で今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題研修	○		○	小・中・高・特	校長
ms11020	園長研修	未定		園経営課題研修	○		○	幼	園長
ms11030	新任校・園長研修	未定	管理職としての職務(学校経営、管理運営、職員育成等)について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	○		○	全校種	新任校長 新任園長
ms11040	教頭研修	未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校運営の在り方を考える。	学校運営に係る課題(教員の育成 OJT)	○		○	全校種	教頭
ms11050	新任教頭研修	未定	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修	○		○	小・中・高・特	新任教頭

(2)職務に応じた研修(職務別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	獲得をめざす資質			対象校種	対象者	
					責任感・	授業力	専門性 対応力			
ms12010	人権教育担当者研修	10/31	学校における人権教育を振り返るとともに、人権への感度を高め、指導力の向上を図る。	人権教育について			○	○	全校種	人権教育担当者
ms12021 ms12022 ms12023	ミドルリーダー研修	未定	ミドルリーダーの資質・能力の向上を図り、学校運営に主体的に参画する人材を育成する。	これからのリーダーに求められること(シリーズ)	○		○	○	小・中・特	小・中・特 各校より選任
ms12030	生徒指導担当者研修	未定	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ予防研修	○		○	○	小・中・高・特	生徒指導 担当者
ms12040	養護教諭研修	未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の職務等に関する研修			○		全校種	養護教諭
ms12050	栄養教諭研修・ 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育への指導力を高める。	栄養教諭の職務等に関する研修			○		全校種	栄養教諭 学校栄養職員
ms12060	特別支援教育 コーディネーター研修	未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育の充実を図るための研修			○	○	全校種	特別支援教育 コーディネーター
ms12070	学校事務職員研修	未定	学校事務の職務について理解を深めるとともに、疑問点を解決する。	学校事務職員の職務等に関する研修			○		全校種	学校事務職員
ms12080	教育用コンピュータシステム 管理担当研修 ※情報セキュリティー研修講座を兼ねる	未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用			○		小・中・高・特	小・中・高・特別 支援学校の教育用 コンピュータ 管理担当教員
ms12090	体罰等防止研修	未定	学校・教育現場における体罰・非遵行為等の防止に対する意識の改革、人権意識の醸成等を行い、指導力の向上を図る。	体罰・非遵行為等の防止について			○	○	全校種	各校園より選任
ms12101 ms12102 ms12103 ms12104	高等学校いじめ防止研修	未定	教職員一人ひとりのいじめに対する感度を上げ、いじめの早期発見、対応等に向けた体制の強化につなげる。	いじめ等への対応力の向上、発達特性の理解とかかわり			○	○	高等学校	高等学校教職員

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者
					専門性 責任感・ 使命感	授業力	対応力		
ms12110	コンプライアンス研修	未定	教育公務員として遵守すべき法令理解、コンプライアンス意識の高揚を図る。	教職員のコンプライアンスについて	○	○	○	全校種	各校園より選任
ms12120	コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修	6/19 ～21 8/19 ～21 11/13 ～15	コミュニケーション重視の授業づくりと授業力の向上を図る。	コミュニケーション重視の指導法について	○	○	○	中・高	英語科教員

(3)教職年数に応じた研修(経験年数別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者	
					専門性 責任感・ 使命感	授業力	対応力			
ms13010	臨時的任用教員等スキルアップ研修	第1回	5/17	教育公務員としての服務等基本的な事項を確認するとともに、本市の現状と重点取組について学ぶ機会を設け、教職員としての資質の向上を図る。	尼崎市の教育事情 子ども理解 授業と評価	○	○	○	小・中・特	小・中・特別支援学校の臨時的任用教員等
		第2回	9/13		教科等の研修講座を2つ選択して受講する	○	○	○		
		選択必修 通年	○			○	○			
ms13020	1年目教員必修研修	第1回	5/21	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育 新任教師としての心構え 接遇・初任者研修の概要	○	○	○	小・中・特	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者
		第2回	5/28		学級経営 授業づくりの基本 メンタルヘルス①	○	○	○		小・中学校の初任者
		第3回	6/11		評価 スズキ校務 特別の教科 道徳の授業づくり	○	○	○		小・中学校の初任者
		第4回	6/25		あまよう特別支援学校の教育 インクルーシブ教育 授業のユニバーサルデザイン あまよう見学	○	○	○		小・中・特別支援学校の初任者
		第5回	7/2		生徒指導（いじめ防止） ポジティブ行動支援	○	○	○		小・中学校の初任者
		第6回	7/29		特別活動・部活動指導 授業実践研修（指導案検討）	○	○	○		中学校の初任者
			7/30		教科の指導 「算数科の指導」 教科の指導 「国語科の指導」	○	○	○		小・特別支援学校の初任者
		第7回	8/27		教育相談 学校事故防止 ゲートキーパー入門講座 メンタルヘルス②	○	○	○		小・中学校の初任者
		第8回	9/3		特別支援教育・不登校対応 教科指導におけるICTの活用 情報モラル教育	○	○	○		小・中学校の初任者
		第9回	9/10		ATTF・校外研修 アレルギー疾患への基本的な対応・救命救急法	○	○	○		小・中学校の初任者
		第10回	10/1		尼崎の歴史・地域散策	○	○	○		小・中学校の初任者
		第11回	11/5		Google操作研修 授業実践研修（授業参観・事後検討・実践交流）	○	○	○		小・中・特別支援学校の初任者A
			11/12		Google操作研修 授業実践研修（授業参観・事後検討・実践交流）	○	○	○		小・中・特別支援学校の初任者B
		第12回	12/3		人権教育 LGBTQ・メンタルヘルス③	○	○	○		小・中学校の初任者
第13回	1/21	学習評価 教科の指導 「外国語活動・外国語科の指導」	○	○	○	小学校の初任者				
		学習評価 中学校の教員として大切なこと	○	○	○	中学校の初任者				
第14回	2/4	他業種に学ぶ 学び続ける教員となるために	○	○	○	小・中学校の初任者				

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者	
					責任感・	授業力	専門性 対応力			
ms13030	2年次教員研修	5/31	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法を活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上を図る。	研修の概要、授業づくりグループ授業実践研修①	○	○	○	小・中	小・中学校の2年目教員	
		未定		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ (公開授業)	○					
				教科等の研修講座を3つ選択して受講する。	○					
				異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	○					
ms13040	異校園種交流研修 (幼稚園・特別支援学校・高校)	6月～2月			○		幼・特・高校	幼稚園・特別支援学校・高等学校の2年目教員		
ms13050	3年次教員研修	6/26	初任者研修、教職経験者（2年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上を図る。	ポジティブ行動支援 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①	○	○	○	小・中	小・中学校の3年目教員	
		7月～2月		グループ授業実践研修② 公開授業、事後研究会等	○					
				グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会等	○					
				教科等の研修講座を1つ選択して受講する。	○					
ms13060	5年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上をめざすとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実を図る。	インクルーシブ教育研修講座（半日分）を必ず受講し、希望による研修講座から半日分を選択して受講する。	○	○	○	小・中・特	小・中・特別支援学校の5年目教員及び希望対象者	
ms13070	中堅教諭等資質向上研修	5/8	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質向上を図る。	共通研修Ⅰ 「生徒指導」	○		○	小・中・特	小・中・特別支援学校の10年経験者(11年目)	
		7/22		共通研修Ⅱ 「教育課題」		○	○			○
		8/22		共通研修Ⅲ 「生徒指導」	○		○			○
		11/8		共通研修Ⅳ 「キャリアデザイン」		○	○			○
		12/4		共通研修Ⅴ 「教科指導」		○	○			○
		5月～2月		選択研修 任意の研修を5つ選択する。		○	○			
ms13080	15年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分（半日2回分）を選択して受講する。	○	○	○	小・中・特	小・中・特別支援学校の15年目教員及び希望対象者	
ms13090	20年次教員研修	通年	教職20年目の段階に即応した広い視点から教員としての在り方について考え、教育課題に即した専門知識を深め、中核的リーダーとして活躍できる資質の向上を図る。	県教育委員会事務局教職員課が実施するVOD研修及び、希望による研修講座から1日分（半日2回）を選択して受講する。	○	○	○	小・中・特	小・中・特別支援学校の20年目教員及び希望対象者	
ms13100	管外転入教員等研修	5/23	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	○		○	小・中・高・特	管外転入教員	

2 専門研修（希望による研修）

(1)教育課題等への対応研修

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者		
					専門性 責任感・ 使命感	授業力 専門性	対応力 専門性				
ms21011 ms21012 ms21013 ms21014	人権教育研修講座	未定	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	いじめ等、子どもを取り巻く様々な人権問題		○	○	全校種	全教職員		
ms21020	一般教養研修講座	未定	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知識に学び、視野を広げる。	一般教養やシティズンシップ向上等、視野を広げる内容について		○		全校種			
ms21030	学校飼育動物研修講座	未定	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点		○		幼・小・特			
ms21040	情報セキュリティー研修講座 ※教育用コンピュータシステム管理担当研修を兼ねる	未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用		○		小・中・高・特			
ms21050	ICT活用研修講座	未定	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	ICT機器を利用した授業づくり		○	○	小・中・高・特			
ms21060	プログラミング教育研修講座	未定	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルを習得する。	小学校プログラミング教育 入門編		○	○	小・中・特			
ms21070	食育研修講座 ※栄養教諭研修 学校栄養職員研修を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育への指導力を高める。	学校における食育指導について		○		全校種			
ms21081 ms21082	就学前教育研修講座	未定	小学校就学前教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について		○	○	幼・保・小		就学前教育に携わる幼稚園・保育園・保育所等の教職員および小学校教員	
ms21091	子ども理解のための研修講座	1	未定	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	教育的支援を要する子どもたちの教育方法について（特別支援教育）		○	○		全校種	全教職員
ms21092		2	未定	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。	不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にされたクラス経営（生徒指導）		○	○			
ms21093		3	未定	児童生徒のSOSを受け止め、組織的対応や、外部の関係機関等との連携に関する対応力の向上を図る。	児童生徒の課題対応と外部機関との連携について（外部連携）		○	○			
ms21100	インクルーシブ教育研修講座 ※5年次相当研修を兼ねる	未定	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	インクルーシブ教育について		○	○	全校種			

(2)教科等の指導力向上をめざした研修

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者
					専門性 責任感・ 使命感	授業力 専門性	対応力 専門性		
ms22010	授業力向上研修講座	未定	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等、今求められている授業づくりについて考える。	授業デザイン		○		小・中・高	全教職員
ms22020	道徳教育研修講座	未定	「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導力の向上を図る。	道徳授業実践研修		○		全校種	
ms22030	国語科教育研修講座	未定	国語科に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		○		全校種	

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす資質			対象校種	対象者
					責任感・	授業力	専門性 対応力		
ms22040	図書館教育研修講座	未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開	○			全校種	全教職員
ms22050	社会科教育研修講座	未定	社会科に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し授業力の向上を図る。	授業実践交流等	○			全校種	
ms22060	算数科教育研修講座	未定	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	(小学校向け) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22070	数学科教育研修講座	未定	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	(中学校向け) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22080	理科教育研修講座	未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	実験や観察で気をつけたいこと	○			全校種	
ms22090	幼保小接続カリキュラム研修講座	未定	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼・保・小連携について	○			全校種	
ms22101	幼児教育研修講座	1	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	特別支援教育の視点に立った幼児教育	○			全校種	
ms22102		2		絵画実技指導	○				
ms22103		3		音楽実技指導	○				
ms22110	音楽科教育研修講座	未定	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、授業力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について	○			全校種	
ms22120	図工・美術科教育研修講座	未定	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動等について研修し、授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22130	体育科教育研修講座	7/24	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22141	外国語科教育研修講座	未定	外国語活動・外国語科指導に関する専門性を深めるとともに、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22151	英語科教育研修講座	未定	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22160	特別活動（学級経営）研修講座	未定	特別活動の指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの特別活動、学級経営のあり方について	○			全校種	
ms22170	技術科教育研修講座	未定	技術科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22180	家庭科教育研修講座	未定	家庭科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりについて	○			全校種	
ms22190	教育総合センター研究発表会	未定	研究の成果を学校・園などに公開し、本市における教育の向上をめざすとともに、関係機関と成果の共有を図る。	各研究部会による研究成果の発表等	○			全校種	

3 研究部会

講座番号	研修・研修講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	獲得をめざす演習			対象校種	対象者	
					責任感・	授業力	専門性 対応力			
ms30010	エビデンスに基づく教育実践研究部会	通年	平成30年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を分析するとともに、学力向上のPDCAサイクルの一部として活かしていく実践的な研究及び「よりよい授業をめざして」の有効な活用を通じて、各学校における学力向上や授業力の向上を図る。	各校の学力向上計画をもとに、「あまっ子ステップ・アップ調査」等の結果を多様な観点から分析し、児童生徒の実態をつかむR-PDCAサイクルとなるよう研究を進める。また、それらの取組を中学校区において共有し、義務教育9年間を見通した学力向上計画の立案につなげる。	○	○	○	小・中	小・中学校 各校より選任	
	探究的な学習研究部会	通年	問題を見いだしたり、解決したりする力といった社会で求められる資質能力を育てるための保育・授業の在り方を研究することで、幼児期からの「生きる力」の育成を目指す。	社会で求められる資質能力を育てる保育・授業の在り方について研究するとともに、公開授業を実施し、研究成果を市内で交流・共有する。			○	○	幼・小・中・高	幼・小・中・高等学 校より選任
ms30040	体力向上研究部会	通年	運動意欲と体力の向上に向け、授業でのウォーミングアップ時及び授業で取り組むことが可能なプログラム「リズムジャンプ・リズム指導」についての研究を行う。また、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上をめざす。	運動意欲の向上や体力向上につながる授業方法や指導方法等について研究する。			○	○	幼・小・中	幼・小・中学校 より選任

6 文部科学省・県教委等の実施する主な研修一覧

主催	研修名・講座名	対象
・文部科学省 ・NITS（独立行政法人教職員支援機構研修）	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立総合教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中・特の新任特別支援学級担当教員
	通級担当教員等研修	小・中・高・特別支援学校教員 等
	リーダー研修	小・中・高・特別支援学校教職員 等
	選択研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	高等学校初任者研修	令和6（2024）年度採用高等学校教員
	高校教員2年次研修講座	令和5（2023）年度採用高等学校教員
	高校教員3年次研修講座	令和4（2022）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成26（2014）年度採用高等学校教員
	選択研修	小・中・高・特別支援学校教員 等
	県教育委員会	学校管理職・教育行政職特別研修
阪神地区学校経営研究協議会（校長）		小・中・特別支援学校校長
阪神地区学校経営研究協議会（教頭）		小・中・特別支援学校教頭
学校管理職（校長）研究協議会		高等学校校長
学校管理職（教頭）研究協議会		高等学校教頭
学校経営（小・中・特別支援学校）研修講座		令和6（2024）年採用小・中・特別支援学校校長
県立学校新任校長学校経営研修講座		令和6（2024）年度採用高等学校長
幼稚園等新規採用教員研修		令和6（2024）年度採用幼稚園教員
幼稚園等中堅教諭等資質向上研修		平成26（2014）年度採用幼稚園教員
養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用10年次）		平成27年（2015）年度採用 小・中・特別支援学校の10年目養護教諭・栄養教諭
新任主幹教諭研修会		令和6（2024）年度登用市町立学校の主幹教諭
市町立学校臨時的任用教員及び任用候補者研修会		臨時講師及び任期付教員
兵庫教育大学大学院派遣		小・中・特別支援・高等学校教員

7 令和5年度 研修報告

1 基本研修(受講しなければならない研修)

(1)職階に応じた研修(職階別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms11011	校長研修	7	14	金	講話	法令遵守のタテヨコ斜め	芦屋法律事務所 弁護士	長城 紀道	62
ms11012	園長研修	8	22	火	講話	園内研修の活性化とカリキュラム・マネジメント	大阪総合保育大学・大阪総合保育大学大学院 特任教授	神長 美津子	9
ms11020	新任校・園長研修	6	29	木	講話	校長の心得 ～信頼関係を基盤とした学校運営～	神戸親和大学 教授	竹内 弘明	14
ms11031 ms11032	教頭研修	12	15	金	講話	学校と保護者のいい関係づくり～トラブルを大きくさせないために学校が気を付けるべきこと	大阪大学 名誉教授	小野田 正利	76
ms11040	新任教頭研修	7	25	火	講話	学校リスクマネジメントとクレーム対応について	レリーフポイント株式会社 代表取締役	宮下 賢路	13

(2)職務に応じた研修(職務別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms12010	人権教育担当者研修	11	2	木	講話	改めて考える 人権教育	Facilitator's LABO (えふらぼ) 尼崎市人権文化いきづくまづくり審議会委員	栗本 敦子	74
ms12021 ms12022 ms12023	ミドルリーダー研修	7	6	木	講話	ミドルリーダーのリーダーシップを考える	ソルナクリエイティブ株式会社 取締役	大川 郁子	67
		9	14	木	講話 演習	学校活性化に向けたミドルリーダーの役割	兵庫教育大学大学院 特任教授	浅野 良一	67
		1	18	木	講話 演習	若手教師から頼られるミドルリーダー力をつける	岐阜聖徳学園大学 教授	玉置 崇	67
ms12030	生徒指導担当者研修	12	14	木	講話	子どもたちのメンタルヘルス ～当事者講話を通じた授業の可能性～	社会活動家/慶応義塾大学SFC研究所所属	原 匠	58
ms12040	養護教諭研修	7	13	木	講話 討論	・感染症、予防接種、そして性教育 ・子どもの権利を守るために、子ども・若者にやさしい「ユースフレンドリー」な思春期保健のあり方 ・一尼崎版ユースクリニックの取り組みを通して ・総合討論「フリーディスカッションタイム ～講演を受けて～」	神戸大学大学院 教授 一般社団法人 enGrab代表理事 性暴力被害者支援センター・ひょうご理事	岩田 健太郎 桑原 陣 田口 奈緒	76
ms12050	栄養教諭研修・学校栄養職員研修 ※食育研修講座も兼ねる	2	16	金	講話	生きる力と食行動・態度の相関から見える教育の視点	武庫川女子大学 准教授	脇本 景子	40
ms12060	特別支援教育コーディネーター研修	1	31	水	講話	校種間の連携を意識した特別支援教育コーディネーターの取り組みについて	関西国際大学 教授	中尾 繁樹	74
ms12080	教育用コンピュータシステム管理担当者研修 ※情報モラル・セキュリティー研修講座を兼ねる	5	15	月	講話	教育コンピュータシステムの管理と運用	学校ICT推進課 係長	山下 崇	68
ms12090	体罰等防止研修	6	1	木	講話 演習	アンガーマネジメントと不適切指導	株式会社 Meta-Design-Development 代表取締役	鷺本 晴香	73
ms12101	高等学校いじめ防止研修	7/10(月)～8/25(金)			VOD研修	・いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方 ・いじめのとらえ方と予防 ・自殺予防 ・ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応 ・コーチングのスキルと活用IV ～円滑な保護者対応に生かす～	公益社団法人日本社会福祉士会 アドバイザー 日本大学 教授 関西外国語大学 教授 兵庫県立大学 准教授 別府大学 教授	愛沢 隆一 藤平 敦 新井 肇 竹内 和雄 佐藤 敬子	214
ms12102 ms12103 ms12104		11 12 12	10 12 15	金 火 金	講話	・特別な支援を要する生徒への対応について ・生徒のSOSを受け止めるために ・学校と保護者のいい関係づくり～トラブルを大きくさせないために学校が気を付けるべきこと	兵庫県立教育研修所 指導主事 中央大学 客員研究員 大阪大学 名誉教授	八木 絵梨奈 高橋 聡美 小野田 正利	157
ms12110	コンプライアンス研修	9	13	水	講話	防ごう！信用失墜行為 コンプライアンス研修	株式会社 Meta-Design-Development 代表取締役	鷺本 晴香	72
ms12120	コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修	6	21 22 23	水 木 金	講話 演習	Foundation(初級) 「話すこと(やり取り)」の指導と評価 Advanced(中級) 「話すこと(やり取り)」の指導と評価 Advanced Plus(上級) 教員と生徒が英語を豊富に使用する授業づくり	ブリティッシュ・カウンシル 英語教員研修トレーナー	Ross Malcom	71
		8	21 22 23	月 火 水	講話 演習	Foundation(初級)語彙指導 Advanced(中級)「書くこと」の指導と評価 Advanced Plus(上級)「聞くこと」	ブリティッシュ・カウンシル 英語教員研修トレーナー	Ross Malcom	67
		11	15 16 17	水 木 金	講話 演習	Foundation(初級)「読むこと」と技能統合 Advanced(中級) 語彙指導 Advanced Plus(上級)文法指導	ブリティッシュ・カウンシル 英語教員研修トレーナー	Ross Malcom	70

(3) 経験年数に応じた研修(経験年数別研修)

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms13010	臨時的任用教員等スキルアップ研修	5	19	金	講話	・尼崎市の教育 ・授業づくり	尼崎市立教育総合センター 所長 学校ICT推進課 係長 学校ICT推進課 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事	嶋名 雅之 山下 崇 雨宮 久仁 中村 匡孝 林 玄典	36
		9	15	金	講話	・教え屋の振り返り ・学びをどう支えるか	学び支援課 学校運営アドバイザー 学び支援課 学校運営アドバイザー	平家 祐孝 中 俊弘	45
		通年			講話 演習	尼崎市教育総合センターが実施する選択研修2日分を選択し受講する。	各自研修に参加		
ms13020	1年目教員必修研修	5	16	火	講話	・教職員としての心構え・服務について ・学級づくり・授業づくりについて ・教職員の接遇について	尼崎市立教育総合センター 所長 特別支援教育担当 首席指導主事 学校教育課 首席指導主事 学び支援課 参事 HY教育エンタープライズ 代表 学び支援課 研修担当 指導主事	嶋名 雅之 杉本 浩美 平山 直樹 平林 晃子 橋場 由見子 中村 匡孝	52
		5	23	火	講話	・あーよかったな 先生になって ～「つながり」と感動」そして「笑顔」～ ・授業づくりの基礎	教育サポーター兼元気塾PLUS 代表 学び支援課 研修担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	仲島 正教 吉向 良太 中村 匡孝	43
		6	13	火	講話	・あまよう特別支援学校の教育 ・インクルーシブ教育の視点に立った児童生徒支援 ・困っている子に寄り添う特別支援教育 ・あまよう特別支援学校 施設見学	あまよう特別支援学校 校長 特別支援教育担当 指導主事 あまよう特別支援学校 専任コーディネーター	小寺 英樹 本村 芳典 高木 裕美	45
		6	27	火	講話	・情報モラル ・校務支援ソフト ・評価 ・「考え、議論する」道徳科の推進 ～「主体的・対話的で深い学び」につなげる道徳科の授業～	学校ICT推進課 学び支援課 研修担当 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事 四天王寺大学 教授	米田 浩 西田 篤司 中村 匡孝 杉中 康平	44
		7	4	火	講話	・これからの児童・生徒対応 ・ポジティブ行動支援に基づく指導・支援の基本	いじめ防止生徒指導担当 係長 大阪教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授	川西 勝 庭山 和貴	43
		7	31	月	講話	・なぜ一人一台端末なのか？これからの学力観とchromebookにできること ・1～3年次授業実践研修を兼ねる	学校ICT推進課 指導主事 尼崎市立立花中学校 主幹教諭 尼崎市立立花中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭 尼崎市立小園中学校 教諭 尼崎市立小園中学校 教諭 尼崎市立小園中学校 教諭 尼崎市立大庄中学校 教諭 学び支援課 研修担当 指導主事 保健体育課 係長 学び支援課 研修担当 係長	雨宮 久仁 山口 慎二 日野 祐甫 松本 拓也 藤田 恵理 小崎 典子 坂本 知弘 里村 典子 中村 匡孝 山口 和孝 吉向 良太	53
		8	1	火	講話	・国語科の指導 ・小学校プログラミング教育入門 ～アフターGIGAはもう始まっている～	大阪大谷大学 教授 兵庫教育大学附属小学校 教諭	今宮 信吾 林 孝茂	25
		8	29	火	講話	・子どものSOSをキャッチする ～ゲートキーパー入門講座～ ・教育相談について ・学校事故への対応の基本	NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事 こども教育支援課 係長 保健体育課 指導主事	香川 裕美 原田 麻歎 平岩 裕美	43
		9	5	火	講話	・特別支援教育について ・教科におけるICTの活用 ・学級づくり・学年づくり	特別支援教育担当 指導主事 学校ICT推進課 係長 尼崎市立園田中学校 教頭	木徳 恭平 山下 崇 石井 郁樹	43
		9	12	火	講話	・ATTF2 ・アレルギー疾患への対応の基本 ・校外学習指導について	生涯・学習！推進課 係長 学校給食課 係長 学び支援課 研修担当 係長	稲葉 大志 上杉 由香 吉向 良太	44
		10	3	火	講話 見学	尼崎の地域・歴史散策	尼崎市立歴史博物館 学芸員	桃谷 和則	42
		11	14	火	演習	・校外学習プランの交流 ・授業実践研修①	学び支援課 研修担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事 学校ICT推進課 指導主事 尼崎市立小園中学校 教頭 尼崎市立小園中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭	吉向 良太 中村 匡孝 雨宮 久仁 田中 かわり 小崎 典子 松本 拓也	41
		11	21	火	講話	・校外学習プランの交流 ・授業実践研修②	学び支援課 研修担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事 保健体育課 係長 尼崎市立小園中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭	吉向 良太 中村 匡孝 山口 和孝 坂本 知弘 日野 祐甫	37
		1	23	火	講話	・学習評価 ・LGBTQ	京都大学大学院 准教授 NPO法人 MixRainbow 副代表	石井 英真 藤原 直	44
1	30	火	講話	・人権教育 ・外国語活動・外国語科の指導 ・学び続ける先生	学校教育課 指導主事 尼崎市立武庫庄小学校 教諭 学校教育課 首席指導主事 学び支援課 学校運営アドバイザー	清長 幸治 平島 理絵 平山 直樹 中 俊弘	44		
2	6	火	講話	・他業種に学ぶ ・学び続ける教員となるために ・2年次に向けて	(株)リビエール 代表取締役 学び支援課 研修担当 指導主事	西 剛紀 中村 匡孝	44		

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms13030	2年次教員研修	5	31	水	講話	・子どもの「やった!」「できた!」を増やすポジティブ行動支援 -問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには- ・2年次教員研修の概要について ・グループ授業実践研修	大阪教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授 学び支援課 研修担当 指導主事	庭山 和貴 林 玄典	45
		7	31	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	14
		8 8 8 8	1 4 7 23	火 金 月 水	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	29
		10 11 11 11 11	30 7 8 28 26	月 火 水 火 金	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	29
		11 11	14 21	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	14
ms13040	異校園種交流研修(幼稚園・特別支援学校・高校)	6月～2月			講話	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導者とする。			53
ms13050	3年次教員研修	6	21	水	講話	・子どもの「やった!」「できた!」を増やすポジティブ行動支援 -問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには- ・3年次教員研修の概要について ・グループ授業実践研修	大阪教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授 学び支援課 研修担当 係長	庭山 和貴 吉向 良太	53
		7	31	月	演習	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 係長	吉向 良太	18
		9 9 10 10 11	14 29 17 31 2	木 金 火 火 木	演習	授業力向上研修授業実践交流	学び支援課 研修担当 係長	吉向 良太	34
		10 10 11 11 11 2	19 27 17 28 9	木 金 金 火 金	演習	授業力向上研修授業実践交流	学び支援課 研修担当 係長	吉向 良太	34
		11 11	14 21	火	演習	教科グループ授業実践研修(公開授業、事後研究)	学び支援課 研修担当 係長	吉向 良太	18
ms13060	5年次相当教員研修	通年			講話 演習	インクルーシブ教育研修講座(半日分)を必ず受講し、希望による研修講座から半日分を選択して受講する。	各自研修に参加		48
ms13070	中堅教諭等資質向上研修	5	10	水	講話	・ふたごじてんしゃ物語 ・令和5年度 中堅教諭等資質向上研修の概要	株式会社 ふたごじてんしゃ代表取締役 学び支援課 研修担当 指導主事	中原 美智子 中村 匡孝	84
		7	21	金	講話	・子どもの問題行動を予防し、望ましい行動を伸ばすには? -ポジティブ行動支援に基づいて考える- ・一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた支援について	大阪教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授 特別支援教育担当課 係長	庭山 和貴 松田 賢	84
		8	30	水	講話	GIGA×ICT×一斉・協働・個別	日本アクティブラーニング学会 会長	米田 謙三	84
		12	5	火	講話	授業について	学び支援課 研修担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事	吉向 良太 中村 匡孝 西田 篤司	81
		5月～2月			講話	選択研修を6日分受講する。	各自研修に参加		84
ms13080	15年次相当教員研修	通年			講話	希望による研修講座から、各自の課題に応じた研修を1日分(半日2回)選択し、受講する。	各自研修に参加		86
ms13090	管外転入教員等研修	5	25	木	講話	尼崎の教育 ～本市教員に望むこと～	尼崎市立教育総合センター 所長	嶋名 雅之	25

2 専門研修(希望による研修)

(1)教育課題等への対応研修

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms21011	人権教育研修講座	7	21	金	講話	この国に生まれて ～2つのなまえ～	一般社団法人 在日コリアン・マイノリティ人権研修センター 理事 (兵庫県教育委員会採用外国人職員1号)	金 園 恵	14
ms21012		7	25	火	講話	LGBTQ+の児童生徒の存在を認識した学校での取り組み	宝塚大学 教授	日高 庸晴	83
ms21013		7	26	水	講話	ヤングケアラーの理解とその現状	特定非営利活動法人 ふうせんの会 事務局長代理 運営スタッフ	西川 ゆかり 原田 伊織	50
ms21014		8	10	木	講話	子どもの権利を支えるための大人のかかわり	Facilitator's LABO (えふらぼ) 尼崎市人権文化いきづくまちづくり審議会委員	栗本 敦子	21
ms21020	一般教養研修講座	8	7	月	講話 演習	シチズンシップ向上プログラム Amagasaki To The Future 2	生涯、学習！推進課 係長	稲葉 大志	12
ms21030	学校飼育動物研修講座	6	16	金	講話	・学校飼育動物の意義と目的、最適な飼育環境について ・動物アレルギーの基礎知識などについて ・ウサギ等の取り扱いについて	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 会長 学校飼育動物委員会 委員長 学校飼育動物委員会 副委員長	大松 健 村上 義久 石川 知也	10
ms21040	情報モラル・セキュリティ 研修講座	5	15	月	講話	教育コンピュータシステムの管理と運用	学校ICT推進課 係長	山下 崇	68
ms21050	I C T活用研修講座	8	3	木	講話	子どもの好奇心を促し、自ら学びを創り続けるためのICTの効果的な活用方法	関西大学初等部 専任教諭	東口 貴彰	32
ms21060	プログラミング教育研修講座	7	28	金	講話 演習	目指せ学びのSTEAM化！楽しく体験、小学校プログラミング教育	兵庫教育大学附属小学校 教諭	林 孝茂	30
ms21070	食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる	2	16	金	講話	生きる力と食行動・態度の相関から見える教育の視点	武庫川女子大学 准教授	脇本 景子	4
ms21080	就学前教育研修	8	1	火	講話 実技指導	うたって おどって わらって みんなげんき!!	みんなげんきジム 代表 大阪芸術大学短期大学部 特任教授 みんなげんきジム 音楽指導部長	米田 和正 山田 美紀子 源 悦子	39
ms21090	子ども理解のための 研修講座（1）	8	3	木	講話	子どもの脳を傷つけない子育て ～マルトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ～	福井大学子どものこころの発達研究センター 教授	友田 明美	98
ms21091	子ども理解のための 研修講座（2）	8	8	火	講話	子どものSOSをキャッチする ～ゲートキーパー入門講座～	NPO法人 ゲートキーパー支援センター 理事長	竹内 志津香	81
ms21100	インクルーシブ教育研修講座	8	9	水	講話	通常の学級にいる子どもたちの支援の在り方について ～通級による指導を活用して～	愛媛大学 名誉教授	花熊 暁	172

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms22010	授業力向上研修講座	8	31	木	講話 演習	授業づくりと評価	大妻女子大学 教授	澤井 陽介	33
ms22020	道徳教育研修講座	7	26	水	講話	子どもたちの対話を大切にしたい道徳科授業の在り方(小学校編)	四天王寺大学 教授	杉中 康平	42
		7	27	木	講話	子どもたちの対話を大切にしたい道徳科授業の在り方(中学校編)			14
ms22030	国語科教育研修講座	8	2	水	講話	フレームリーディングで説明文の授業をつくる	全国国語授業研究会 会長	青木 伸生	105
ms22031		8	2	水	講話	フレームリーディングで物語の授業をつくる	全国国語授業研究会 会長	青木 伸生	77
ms22040	図書館教育研修講座	2	8	木	講話	学校図書館を活用した探究学習 ～広がる！つながる！新しい発想で！～	奈良教育大学 非常勤講師	曲里 由喜子	18
ms22050	社会科教育研修講座	7	27	木	講話 演習	社会科 模擬授業バトル	尼崎市立尼崎高等学校 教諭	尾之内 潤	21
ms22051		8	2	水	講話	尼崎市立歴史博物館について ～歴史博物館が行う体験を通じた学校教育支援～	尼崎市立歴史博物館 係長 学芸員 学芸員 学芸員	河野 未央 桃谷 和則 高梨 政大 伏谷 優子	10
ms22060	算数科教育研修講座	8	3	木	講話	楽しい算数授業に必要な条件	全国算数教育授業研究会 常任理事	尾崎 正彦	84
ms22070	数学科教育研修講座	8	4	金	講話	中学校数学科における主体的に学習に取り組む態度を育む授業づくり	武庫川女子大学 教授	神原 一之	17
ms22080	理科教育研修講座	8	4	金	講話	自然科学の基礎をぬかない理科の授業づくりは 子どもの目をかがやかせる －真理真実の追求が子どもの真の主体性を引き出す－	奈良教育大学附属小学校 前副校長	井上 龍一	31
ms22090	幼児小接続カリキュラム研修講座	1	18	木	講話	幼児小の架け橋プログラムとこれからの幼児教育	文部科学省 初等中等教育局幼児教育課 幼児教育調査官	横山 真貴子	27
ms22101	幼児教育研修講座	8	21	月	講話 (Zoom)	幼児が遊びを通じて学ぶとは ～小学校教育へつながる幼児期の学び～	名古屋学芸大学 教授	津金 美智子	37
ms22102		8	23	水	講話 演習	子どもの育ちと造形・描画活動	関西学院大学 教授	栗山 誠	33
ms22103		8	1	火	講話 演習	楽しい音楽活動へのアプローチ ～音・遊び・からだ～	学校法人甲南学園 甲南小学校 (元 尼崎市立小学校 教諭)	藤原 和恵	29
ms22110	音楽科教育研修講座	7	24	月	講話	楽しく音楽学習を進めるためのあの手この手 ～歌唱編～	茨木市少年少女合唱団 指揮者 (元 茨木市立小学校 指導教諭)	古宮 真美子	42
ms22120	図工・美術科教育研修講座	9	7	木	講話 演習	幼・小・中・高・特のつながりを意識した造形遊びの指導	鳴門教育大学 教授	山田 芳明	44
ms22130	体育科教育研修講座	11	9	木	講話 演習	リズムを使った体育指導 ～キャッチバレーボール編～	一般社団法人 スポーツリズムトレーニング協会 代表理事	津田 幸保	30
ms22141	外国語・英語科教育研修講座(1)	7	26	水	講話 演習	外国語教育の現状とこれから	尼崎市立武庫庄小学校 教諭 尼崎市立武庫北小学校 主幹教諭 尼崎市立尼崎北小学校 教諭	平島 理絵 永井 智子 宮武 夏貴	26
ms22142	外国語・英語科教育研修講座(2)	8	18	金	講話	指導と評価の一体性	関西大学 教授	田尻 悟郎	26
ms22150	特別活動研修講座	2	5	月	講話	活動で創るつながりと学級経営について	武庫川女子大学 准教授	藤本 勇二	8
ms22160	技術科教育研修講座	8	9	水	講話 演習	「D情報の技術」における双方向性のあるコンテンツのプログラミング	兵庫教育大学大学院 教授	森山 潤	7
ms22170	家庭科教育研修講座	7	28	金	講話	子どもたちと考えるSDGs ～学校でどのように取り組むか～	法政大学 准教授 財団法人 消費者教育センター 主席研究員	柿野 成美	4
ms22180	教育総合センター 研究発表会	3	1	金	講話 (Zoom)	基調講演 子ども主体で取り組む家庭学習の在り方 発表1 エビデンスに基づく教育実践研究部会 発表2 ICT活用推進部会 先導的モデル校実証研究 発表3 探究的な学習研究部会 発表4 体力向上研究部会	早稲田大学 教職大学院 教授 学び支援課 研修担当 指導主事 学校ICT推進課 係長 学校ICT推進課 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事	田中 博之 西田 篤司 山下 崇 雨宮 久仁 林 玄典	68

3 研究部会

講座番号	研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
		月	日	曜					
ms30010	エビデンスに基づく教育実践研究部会	9	1	金	講話 (Zoom)	エビデンスに基づく教育実践研究部会の概要と今後の予定	学び支援課 研修担当 指導主事	西田 篤司	58
		11	29	水	講話 交流	あまっ子ステップ・アップ調査の結果活用と実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	西田 篤司	58
		1	26	金	講話 演習	学力向上に向けた取組を校内で活性化させるためには	大阪教育大学 大学院 教授 学び支援課 研修担当 指導主事	木原 俊行 西田 篤司	58
		3	1	金	講話 (Zoom)	教育総合センター発表会	早稲田大学 教職大学院 教授 学び支援課 研修担当 指導主事	田中 博之 西田 篤司	58
ICT活用推進部会	ICT活用推進部会	5	29	月	VOD研修	先進事例の共有-GIGA 時代の教員の働き方を考えるオンラインセミナー -ちょっとした工夫で楽になる！クラウドを活用したこれからの教員の働き方-	Google for Educationより https://www.youtube.com/watch?v=df3jXujDdCY	-	60
		6	29	木		講話 (Meet)	校務活用支援について (Google)	Google for Education Japan 市場開発部/顧客戦略部	喰田 優綾
		8	21	月	講話 (Meet)	生成AIの活用について、尼崎市及び各校のICT活用状況の把握	学校ICT推進課 係長	山下 崇	60
		11	15	水	演習 (非同期)	学校の取組の共有及び自校のICT活用状況のチェック -Google Workspaceによるオンライン非同期型研修-	学校ICT推進課 係長	山下 崇	60
		1	10	水					
3	4	月	演習 (非同期)	本年度の振り返り及び次年度に向けての取組の検討	学校ICT推進課 係長	山下 崇	60		
探究的な学習研究部会	探究的な学習研究部会	7	27	木	講話	これからの社会で求められる資質・能力と変数を取り入れた授業づくり	徳島大学 准教授	福井 昌則	3
		12	7	木	公開授業	尼崎市立清和小学校 第5学年 理科「ペンデュラムウエーブをつくろう」	学校ICT推進課 指導主事	雨宮 久仁	3
		12	12	火	公開授業	尼崎市立立花中学校 第1学年 技術「切断を探究する」			3
		3	11	月	公開授業	尼崎市立日新中学校 第1学年 総合的な学習の時間「個人探究」			3
ms30040	体力向上研究部会	6	30	金	演習	研究テーマの設定・今後の研究について	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	9
		7	21	金	演習	・主運動につながるリズム指導の役割分担について ・2学期の取組について	学び支援課 研修担当 指導主事	林 玄典	9
		11	9	木	講話 演習	・キャッチバレーボールにおけるリズム指導 ・バスケットボールにおけるリズム指導 ・リズムジャンプ時のポイント・主運動につながるリズム指導の考案	一般社団法人 スポーツリズムトレーニング協会 代表理事 学び支援課 研修担当 指導主事	津田 幸保 林 玄典	9
		1	16	火	講話 演習	・リズムジャンプ指導方法について ・マット・跳び箱運動におけるリズム指導 ・リズムジャンプ時のポイント・主運動につながるリズム指導の考案	一般社団法人 スポーツリズムトレーニング協会 代表理事 学び支援課 研修担当 指導主事	津田 幸保 林 玄典	9

8 令和5年度 研究部会の概要報告

1 エビデンスに基づく教育実践研究部会

「学力調査結果の分析・活用

ー各学校における授業改善や学力向上の取組の充実を目指してー

学び支援課 研修担当 指導主事 西田 篤司

【内容の要約】

本研究部会は、今年度、「義務教育9年間で育てたい児童生徒」をテーマに自校の学力向上の取組をあらためて見つめなおし、中学校区で共有することで、研究部員が児童生徒の実態を深く理解した。また、令和6年度の学力向上計画の素案を中学校区で検討、交流し、令和6年度の学力向上計画の取組に一定の見通しを持つことができた。

今後は、いかに学力向上計画を校内で推進していくかが課題である。今年度、第3回研究部会では、講師の大阪教育大学大学院 教授 木原 俊行 氏から、「壮大な計画よりも、教員全員が共通して取り組めるものを考え、実行すること、学期末などのタイミングで、修正を加えながら、推進していくことが大切である。」と述べられていたことから、絶えず検証と修正を繰り返すこと（PDCA サイクル）の重要性を再認識した。

2 ICT 活用推進部会

「尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS）」実現に向けての取組

ー尼崎市全教職員のさらなる ICT 活用指導力向上を目指してー

学校 ICT 推進課 係長 山下 崇

【内容の要約】

本部会は、【尼崎市版 GIGA スクール構想（AGS）】の実現に向けて、児童生徒1人1台の端末を活用した先進的な事例を学んだり市内の学校間で取組を共有したりすることで、多くの教員が効果的に ICT を活用し、「指導の個別化」や「学習の個性化」の授業スキルを身につけられるように推進していくことを目的とする。部会の進め方については、担当者を1名決めて参加するのではなく、各校1名以上が、部会内容を確認し、その都度、任意に出席する形式とし、学校単位で取り組むものとした。

具体的には、年間5回実施した部会のうち、企業の講師から先進的な事例や有効的なアプリケーションの使用法についての講義を受けるほか、特定の研修日を設けず、各校の取組を共有するワークショップなども部会の中に盛り込み、昨年度に作成した AGS 情報共有掲示板（Google サイト）にその成果を定期的に掲示したり、ICT 活用推進部会のクラスルームを使用して、各校からの質問に回答を行ったりすることで、尼崎市全教職員のさらなる ICT 活用指導力向上を図った。

3 探究的な学習研究部会

「児童生徒にゆだねる場面づくりとこれからの社会を見据えた資質能力の育成」

学校 ICT 推進課 指導主事 雨宮 久仁

研究員	山下 賢	(清和小)	松本 拓也	(立花中)
〃	谷口 稜汰	(日新中)		

【内容の要約】

「Society5.0」や「VUCA」といった言葉に代表されるように、想像もできないような将来が待ち構えていると予測されている。そのような社会を生き抜くために学習指導要領前文には、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と記載されている。

本研究部会では、そのような児童生徒を育成していくために、児童生徒にゆだねる授業の研究を行った。また、単元のまとめとして、成果物発表に取り組む活動がよく実施されているが、成果物発表後に、気づいた改善点や疑問点について、もう一度試行錯誤する機会を確保できない場合が多い。そのため、単元を計画する際に、連続して同じ内容を取り扱うことや、学習した内容をさらに深められるような機会の確保にも挑戦した。

4 体力向上研究部会

「ホップ!スマイル!!リズムジャンプ!!!」

—幼児 児童 生徒の体力づくりおよび体力向上を目指したリズムジャンプの活動実践—

学び支援課 研修担当 指導主事 林 玄典

研究員	花田 幸子	(園田幼)	安積 真紀	(武庫幼)
〃	長井 裕志	(浜田小)	芦田 拓磨	(名和小)
〃	芝 朋来	(園田小)	浜崎 伸之	(園田北小)
〃	川向 雄大	(園和小)	多田 和軌	(小田北中)
〃	中村 夢希	(大庄北中)		

【内容の要約】

本市の子どもの新体力テストの結果は、全国・県平均と比較すると低い水準にある。本部会では、楽しく運動しながら体力向上に繋がるプログラムづくりについての研究を行う。また同時に、授業でウォーミングアップ時に取り組み、主運動に繋がる動作の獲得が容易になる運動プログラムを研究する。さらに、幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上をめざす。

具体的には、年間4回実施した部会において、本部会の講師をお願いしている津田代表理事の模範授業を参観したことや部会員で話し合ったことにより主運動に繋がるリズム指導を考案することができた。また、子どもたちの運動意欲を高める効果があることをアンケートから確認することができた。

9 令和5年度 学びの先進研究サポート事業 自主研究グループ一覧

NO	グループ名および研究の概要	所属校	代表者名
1	尼崎インクルーシブ教育研究会 園生活における困難を改善する援助に関する研究	武庫幼稚園	前田 有香
2	わくわく研究会 児童詩に関する研究	小園小学校	宇都 亨
3	算数自主研究会 ICTを利用した独自学習と対話を子供の「おたずね」を軸にした相互学習に関する研究	名和小学校	花岡 祐介
4	尼崎市協調学習研究会 主体的・対話的で深い学びを促す授業改善に関する研究	中央中学校	笹脇 正勝
5	道徳自主研究会 道徳科における深い学びに関する研究	潮小学校	由良 健一
6	尼崎の包括的性教育を考える会 包括的性教育に関する小中連携の視点を踏まえたモデル授業案作成に関する研究	大庄中学校	庄司 るみ子
7	国語の授業を考える会 子どもたちの姿を見取る研究	清和小学校	山下 賢
8	サークルS・C・S 国語科・算数科・道徳科の授業づくりに関する研究	水堂小学校	長山 慶介
9	はんしん教育ねっと 人権教育の視点を基盤とした教育の実践研究	尼崎北小学校	井上 佑子
10	演劇・表現活動指導研究会 学級経営と授業力向上につながる演劇・表現活動の指導に関する研究	立花南小学校	山川 和宏

10 令和5年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	小学校 昭和40年以降の教科書 中学校 昭和37年以降の教科書 高等学校 昭和45年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	令和5年6月14日～令和5年7月3日 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	令和2年度～令和5年度使用小学校用教科書 令和3年度～令和6年度使用中学校用教科書 令和6年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく一般図書

11 令和5年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集 (保有数) R6.1.31 現在	
・ 教育関係図書	12,363 冊
・ 教育関係資料 (研究紀要・報告書)	118 冊
・ 雑誌収集	13 タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 (令和5年5月、9月、12月、令和6年3月の年4回発行)	No. 168 ～ No. 171
・ 「教育あまがさき」 (令和5年10月、令和6年3月の年2回発行)	第92号 ～ 第93号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 61 号

(様式3)

第 号
令和 年 月 日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名 尼崎市立
校・園長名

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

1 研修・研修講座名 _____

2 研修実施日 令和 年 月 日 ()

3 対象者名 _____

4 欠席理由 ※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

以 上